

# 新規就農者への集中的支援

## 甲賀農業農村振興事務所農産普及課

### 【普及活動のねらい・対象】

近年の新規就農者の形態は、専業農家の子弟だけでなく、非農家・兼業農家からの就職就農から新部門の開始など様々で、経営感覚や技術の習得度合いが異なることから、個々の状況に応じた経営者意識の醸成や的確な知識・技術の習得が非常に重要となっています。当課では、毎年、新規就農者を対象に技術等の習得が円滑にできるよう、座学や現地研修による研修コースを設置しています。今年度の対象者は、新規参入による農業法人への就職就農者3名、経営開始者1名、実年就農夫婦の6名と多く、部門も異なることから、研修も共通部門と水稲・野菜・果樹部門を個々のニーズに応じて設定しました。

### 【普及活動の成果】

#### 研修の内容

#### （共通部門）

- ・経営者としての意識づけ：『経営発展に向けて新規就農者へ期待すること』（指導農業士）
- ・販売方策の検討
  - 『直売施設を活用した販売促進について』（花野果市石部店店長）
  - 『地元食材を使用した加工品の紹介』（手づくり工房いしべ代表）
- ・基礎知識・技術の取得
  - 座学（土壌と肥料の基礎知識、農薬の基礎知識と安全使用、獣害対策他）
- ・受講者間の繋がりの強化（受講者のほ場・農舎等を巡回し、経営概要を紹介と交流）

#### （部門別）

- ・現地研修（各受講者の生産ほ場等で随時研修）
- ・先進農家研修（竜王町、野洲市）
- ・実証ほ設置（カボチャの環境こだわり栽培、ブドウの草生栽培他）

#### 活動成果

受講者個々に応じた実践的な研修を企画することで、自らの経営に活かせる知識・技術の習得が支援できたと思います。また、経営感覚を高めるよう先進農家や指導農業士にも講師をお願いして研修を進めた結果、受講者から「今後の参考となった！」と高い評価を受けました。

今年度は受講者が多く、新規就農者同士の繋がりもでき、良い機会となったようです。

今後も多様な新規就農者が誕生することが予想されますが、新規就農者の安定経営につながるよう体系的な研修を行い、地域農業の担い手育成を図ります。



座学で基礎知識を学ぶ受講者